

児童生徒、そして保護者に もっと寄り添う 学校運営を目指して

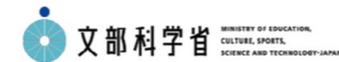
町田市議会 2021年9月定例会 一般質問 矢口まゆ

学校評価とは...？

- 学校に関係している様々な方から意見を聞いたり、アンケートを取るなどして学校を評価していく。
- 町田市でも、保護者や児童生徒に対して全ての公立学校でアンケートが行われている。
- アンケートの内容は、学校のおたよりを通して保護者に報告されている。

学校評価ガイドライン

〔平成28年改訂〕



http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakko-hyoka/index.htm

平成28年3月22日

学校評価の結果と改善方策の公表

- ガイドラインには、結果と改善方策を学校のお便りやHPへの掲載などで広く周知するようにと記載されている。



町田市の現状

- 現在HPへの掲載がされていない（保護者へのおたより配布のみ）
- 保護者の方からの自由記述欄への意見について、個人が特定できてしまう部分を除き、すべて掲載している学校が中学校では一校のみ。ほかは、一部抜粋や、総括的にまとめたものを掲載したり、中には自由記述欄への意見について一切触れない学校もある。すべての学校で、公開できる内容は原則公開とすべきでは。

学校評価の自由記述欄から見る、 保護者からの声～校則等について～

- 髪型→ツーブロックがダメな理由が分からない。伸ばして目とかに前髪が入りそうになっていたり、ぼさぼさ頭よりよっほど清潔感がある。
- ヘアゴムが黒か紺か茶じゃないと注意されると聞いたが飾りとかが付いているのは別として単色なら良いのでは？
- 女子の肌着（シャツ）白限定っていうのはどうかと思う。黒とかベージュとか無地ならいいのでは？白のほうで汗かくと余計に中の下着が透けるし、汚れたり汗ジミとか。
- 肌着の色を変えたりゴムの色が違ったりしただけで非行に走るとは思えないですが…。
- ジャージ登校が増えているが、冬季の寒い時期に防寒着が着られないという対応で、体調管理や教室の換気が適切に行われるのか不安です。
- 下着の色が白だけ？じゃなく黒・グレーなどがあると助かります。
- ツーブロックはなぜダメなのか？子どもにわかるように話してほしい。
- ワイシャツの下のキャミの色を黒やグレーも追加して欲しいです。

学校評価の自由記述欄から見る、 保護者からの声～その他～

- 中学生になると荷物の多さ、重さに驚かされました。
- 子どもの通学靴の重さがいつも10kgを軽く超えています。子どもによるとこれが学校の方針と聞いています。親からすれば時代錯誤かと思えます。特別な合理性等が無いのであれば、改善を希望します。
- このアンケートについて、なぜ記名式なのでしょう。都立中等教育学校のアンケートは無記名でした。
- スキー教室や修学旅行の代金をその説明会よりも先に請求されることが不思議です。順序がおかしいので不誠実な感じがします。
- 無記名がいい。
- 学校に電話をかけたことのない人には答えようのない質問などがあり、質問の項目や回答の選択肢が不十分と感じました。

きまりを守ることが目的ではない

- きまりを守っているか尋ねる質問があるが、「きまりが適切かどうか」や「なぜそのきまりを守るべきか理解しているか」や「きまりについて、その目的を理解して守っている」かなどが問われる質問が無い。

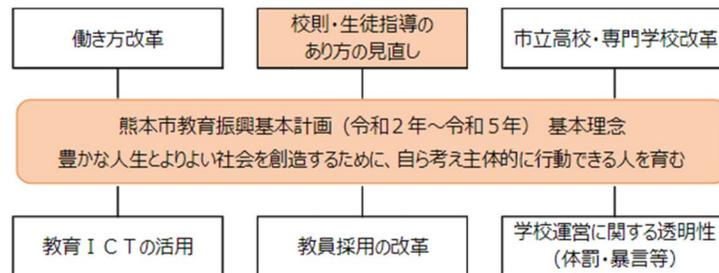
→本当に子どもたちに必要なのは、「自分たちに必要なきまりは何なのかを話し合い決めていく力」ではないだろうか。



- 熊本市では、校則生徒指導の見直しについてガイドラインを作成しています。町田市でもこのような取り組みが必要ではないか。

(1) 見直しの目的

- 本市は、子どもたち一人ひとりが、社会環境の変化に適切に対応し、学びに向かう力を持ち、豊かな人間性、健やかな体を備えた、主体的に考え行動できる人づくりを進めています。
- 校則^(※)・生徒指導のあり方の見直しは、熊本市教育振興基本計画(令和2年～令和5年)の基本理念に基づき、学校改革の一環として行います。
- 自分たちの決まりは、自分たちで作って、自分たちで守るという民主主義の基本を身に付けながら、自ら判断し行動できる児童生徒を育成することを目的とし、校則・生徒指導のあり方の見直しに取り組みます。



本ガイドラインにおける「校則」の定義について

※学校が教育目的を実現していく過程において、児童生徒が遵守すべき学習上、生活上の規律として定められているものを指します。具体的には、小学校では「〇〇学校のきまり」、「生活のきまり」、「よい子の一日」、中学校・高等学校では「校則」、「生徒心得」などを含むものとします。(出典：生徒指導提要)

(2) 見直しの観点及び枠組み

- 文部科学省は、生徒指導の3機能について、「児童生徒に自己存在感を与えること」「共感的な人間関係を育成すること」「自己決定の場を与え、自己の可能性の開発を援助すること」としており、校則や生徒指導がこれに沿っているかを基準として見直しを行います。
- アンケート調査や広聴事業を通じて把握した問題点などを踏まえ、以下の3つの観点から見直しの枠組みを作ります。

- ア 児童生徒が、自ら考え、自ら決めていくような仕組みの構築
- イ 必要かつ合理的な範囲内で制定されることについて
- ウ 校則の公表について

・自分たちの決まりは、自分たちで作って、自分たちで守るといふ民主主義の基本を身に付けながら、自ら判断し行動できる児童生徒を育成することを目的とし、校則・生徒指導の在り方の見直しに取り組みます。

女子のスラックスに許可はいらない

- 町田市では多くの学校で女子のスラックスも可としているが、そもそも全校で可とするのが当たり前ではないか。スラックスをはいてはいけない理由などない。
- 女子がスラックスをはく際に、学校にいちいち許可を取ったり、理由を説明したりする事をしないよう、学校に徹底すべき。